

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月5日

上場会社名 株式会社 GSIクレオス

上場取引所 東大

コード番号 8101 URL <http://www.gsi.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 深瀬 佳洋

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長

(氏名) 松下 康彦

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

TEL 03-5211-1802

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	85,269	0.7	1,524	△0.3	1,142	△7.2	756	173.1
21年3月期第3四半期	84,715	—	1,529	—	1,231	—	277	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	11.76	—
21年3月期第3四半期	4.30	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	59,304	10,263	17.2	158.04
21年3月期	53,951	9,287	17.0	142.79

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 10,173百万円 21年3月期 9,193百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	0.00	0.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	109,000	1.2	1,300	△21.9	900	△28.9	700	68.3	10.87

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4～5ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他 をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 64,649,715株 21年3月期 64,649,715株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 274,777株 21年3月期 264,146株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第3四半期 64,379,491株 21年3月期第3四半期 64,412,921株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、上記予想に関する事項は、4ページの【定性的情報・財務諸表等】 3. 連結業績予想に関する定性的情報 をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

①業績の概況

当第3四半期連結累計期間（平成21年4月1日～平成21年12月31日）におけるわが国経済は、輸出の回復と政府の景気対策などにより景気後退に底打ちの兆しがみられたものの、設備投資や個人消費が低迷するなど依然厳しい状況が続きました。

このような状況下、当社グループは、収益性の向上と海外売上高の拡大方針のもと、目標利益の確保ならびに経営基盤の強化に取り組んでまいりました。

当第3四半期連結累計期間の業績は、世界的な景気低迷の影響を受けましたが、アジア向け取引が引き続き拡大しましたので、売上高は前年同期比553百万円、0.7%増収の85,269百万円となりました。

売上総利益は、個人消費の低迷などにより利益率が0.4ポイント低下しましたので、前年同期比269百万円、2.6%減益の9,923百万円となりました。営業利益は、販売費及び一般管理費の減少により、前年同期比5百万円、0.3%減益の1,524百万円となりました。経常利益は、持分法による投資利益が減少しましたので、前年同期比89百万円、7.2%減益の1,142百万円となりました。四半期純利益は前年同期比479百万円、173.1%増益の756百万円となりました。

②セグメント別の状況

【繊維関連事業】

- 機能性の高いインナー用原糸および生地が取引が大きく伸長しました。

また、肌着などの実用衣料の販売が不振を極めたものの、消費者ニーズを踏まえた企画提案型の婦人ファンデーションは堅調に推移しました。

- 婦人アパレルおよびアウターOEM取引は、店頭不振の影響を受け苦戦を強いられました。

また、欧州および韓国向けアウター用生地の出取引も、市況悪化や円高基調の継続により低調に推移しました。

以上の結果、当事業全体の売上高は前年同期比4,881百万円、7.5%増収の69,705百万円、営業利益は前年同期比237百万円、19.4%増益の1,463百万円となりました。

【非繊維関連事業】

- 生産調整や設備投資の低迷が続いたことから、樹脂などの工業用材料および機械装置の取引が低調に推移しました。

また、半導体市況の回復の遅れにより、米国における化学製品の取扱いも減少しました。

- プラモデル用塗料の取扱いが堅調に推移したものの、生活関連雑貨の取扱いは消費不振が続いたため減少しました。

以上の結果、当事業全体の売上高は前年同期比4,327百万円、21.8%減収の15,563百万円、営業利益は前年同期比344百万円、38.5%減益の549百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債および純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、現金及び預金、売上債権の増加などにより、前期末比5,353百万円増加の59,304百万円となりました。

負債は、仕入債務の増加などにより、前期末比4,377百万円増加の49,041百万円となりました。

純資産は、四半期純利益による株主資本の増加および評価・換算差額等の増加などにより、前期末比976百万円増加の10,263百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、1,456百万円の増加（前年同期比1,189百万円の収入の増加）となりました。主な要因はたな卸資産の減少、税金等調整前四半期純利益によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、89百万円の減少（前年同期比434百万円の支出の減少）となりました。主な要因は貸付による支出によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、761百万円の減少（前年同期比869百万円の支出の増加）となりました。主な要因は借入金の返済によるものです。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は前期末比608百万円増加の8,998百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における業績は通期の予想を上回りましたが、今後も深刻な消費不振の影響を受けることが予想されるため、平成21年5月15日に公表しました平成22年3月期の連結業績予想（平成21年4月1日～平成22年3月31日）は修正いたしません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便な会計処理

① 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

② 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

③ 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

④ 法人税等ならびに繰延税金資産および繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

子会社については見積実効税率により税金費用を算定しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,998	8,389
受取手形及び売掛金	30,319	24,359
商品	8,207	8,930
未着商品	27	30
その他	1,380	1,474
貸倒引当金	△517	△475
流動資産合計	48,414	42,710
固定資産		
有形固定資産	5,605	5,686
無形固定資産		
のれん	10	60
その他	78	76
無形固定資産合計	89	136
投資その他の資産	5,194	5,417
固定資産合計	10,889	11,240
資産合計	59,304	53,951
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,522	16,217
短期借入金	22,460	23,341
1年内返済予定の長期借入金	122	75
未払法人税等	331	105
引当金	215	597
その他	2,317	2,354
流動負債合計	46,969	42,692
固定負債		
長期借入金	620	528
退職給付引当金	1,313	1,297
負ののれん	38	61
その他	99	83
固定負債合計	2,071	1,971
負債合計	49,041	44,663

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,186	7,186
資本剰余金	908	908
利益剰余金	3,193	2,436
自己株式	△52	△51
株主資本合計	11,236	10,480
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△516	△714
繰延ヘッジ損益	11	△15
為替換算調整勘定	△557	△555
評価・換算差額等合計	△1,062	△1,286
少数株主持分	90	93
純資産合計	10,263	9,287
負債純資産合計	59,304	53,951

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	84,715	85,269
売上原価	74,521	75,345
売上総利益	10,193	9,923
販売費及び一般管理費合計	8,664	8,399
営業利益	1,529	1,524
営業外収益		
受取利息	58	34
受取配当金	43	42
持分法による投資利益	169	6
その他	110	108
営業外収益合計	382	191
営業外費用		
支払利息	415	332
為替差損	222	101
その他	41	138
営業外費用合計	679	572
経常利益	1,231	1,142
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	10
固定資産売却益	—	0
投資有価証券売却益	1	0
関係会社出資金売却益	14	—
特別利益合計	15	11
特別損失		
貸倒損失	—	71
貸倒引当金繰入額	62	—
固定資産売却損	1	—
固定資産除却損	40	2
投資有価証券評価損	419	—
特別損失合計	524	73
税金等調整前四半期純利益	722	1,080
法人税、住民税及び事業税	344	311
法人税等調整額	7	7
法人税等合計	351	319
少数株主利益	93	4
四半期純利益	277	756

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	722	1,080
減価償却費	153	150
のれん償却額	26	26
貸倒引当金の増減額(△は減少)	12	△248
退職給付引当金の増減額(△は減少)	18	15
事業撤退特別損失引当金の増減額(△は減少)	—	△249
受取利息及び受取配当金	△102	△76
支払利息	415	332
為替差損益(△は益)	30	△0
有形固定資産売却損益(△は益)	1	△0
有形固定資産除却損	40	2
投資有価証券売却損益(△は益)	△1	△0
投資有価証券評価損益(△は益)	419	—
関係会社出資金売却損益(△は益)	△14	—
売上債権の増減額(△は増加)	△4,539	△5,851
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,377	716
その他の資産の増減額(△は増加)	△88	209
仕入債務の増減額(△は減少)	5,063	5,337
その他の負債の増減額(△は減少)	130	118
その他	△179	222
小計	731	1,784
利息及び配当金の受取額	113	67
利息の支払額	△407	△329
法人税等の支払額	△170	△64
営業活動によるキャッシュ・フロー	267	1,456
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△73	△59
有形固定資産の売却による収入	6	1
投資有価証券の取得による支出	△254	△22
投資有価証券の売却による収入	8	6
貸付けによる支出	△185	△75
貸付金の回収による収入	70	24
その他	△96	35
投資活動によるキャッシュ・フロー	△523	△89
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	98	△867
長期借入れによる収入	80	700
長期借入金の返済による支出	△61	△561
少数株主への配当金の支払額	△3	△7
その他	△3	△24
財務活動によるキャッシュ・フロー	108	△761
現金及び現金同等物に係る換算差額	△53	2
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△201	608
現金及び現金同等物の期首残高	8,888	8,389
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△58	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,628	8,998

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日) (単位:百万円)

	繊維 関連事業	非繊維 関連事業	計	消去 又は全社	連結
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	64,824	19,891	84,715	—	84,715
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	99	99	(99)	—
計	64,824	19,990	84,815	(99)	84,715
営業費用	63,598	19,096	82,694	491	83,186
営業利益	1,226	894	2,120	(591)	1,529

(注) (1) 事業区分は、当連結企業グループの取扱う製品や役務の種類、市場の類似性等を考慮し、繊維関連事業と非繊維関連事業にセグメンテーションしております。

(2) 各事業の主要商品

繊維関連事業・・・化合繊糸、化合繊織物、肌着、靴下、婦人服、紳士服

非繊維関連事業・・・機械、化成品、理化学機器、紙管、ホビー、花火、不動産管理等のサービス

(3) 営業費用のうち消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用は、親会社の管理部門に係る費用であります。

当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日) (単位:百万円)

	繊維 関連事業	非繊維 関連事業	計	消去 又は全社	連結
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	69,705	15,563	85,269	—	85,269
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	91	91	(91)	—
計	69,705	15,655	85,361	(91)	85,269
営業費用	68,242	15,105	83,347	397	83,745
営業利益	1,463	549	2,013	(489)	1,524

(注) (1) 事業区分は、当連結企業グループの取扱う製品や役務の種類、市場の類似性等を考慮し、繊維関連事業と非繊維関連事業にセグメンテーションしております。

(2) 各事業の主要商品

繊維関連事業・・・化合繊糸、化合繊織物、肌着、靴下、婦人服、紳士服

非繊維関連事業・・・機械、化成品、理化学機器、紙管、ホビー、花火、不動産管理等のサービス

(3) 営業費用のうち消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用は、親会社の管理部門に係る費用であります。

[所在地別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日) (単位:百万円)

	日 本	ア ジ ア	北 米	計	消去又は全社	連 結
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	70,226	10,598	3,890	84,715	—	84,715
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,673	431	288	4,393	(4,393)	—
計	73,899	11,030	4,178	89,109	(4,393)	84,715
営業費用	72,653	10,925	4,009	87,588	(4,401)	83,186
営業利益	1,246	105	169	1,521	8	1,529

(注) (1) 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

(2) 各区分に属する主な国又は地域

アジア・・・中国、香港

北 米・・・アメリカ

当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日) (単位:百万円)

	日 本	ア ジ ア	北 米	計	消去又は全社	連 結
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	62,342	20,389	2,536	85,269	—	85,269
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,386	182	205	6,774	(6,774)	—
計	68,729	20,572	2,742	92,044	(6,774)	85,269
営業費用	67,532	20,248	2,698	90,479	(6,733)	83,745
営業利益	1,196	324	44	1,565	(41)	1,524

(注) (1) 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

(2) 各区分に属する主な国又は地域

アジア・・・中国、香港

北 米・・・アメリカ

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成 20年4月1日 至 平成 20年12月31日）（単位:百万円）

	アジア	北米	その他	計
I. 海外売上高	15,192	3,505	1,476	20,174
II. 連結売上高				84,715
III. 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	17.9	4.1	1.8	23.8

(注) (1) 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

(2) 各区分に属する主な国又は地域

アジア・・・中国、香港

北 米・・・アメリカ

その他・・・欧州

(3) 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

当第3四半期連結累計期間（自 平成 21年4月1日 至 平成 21年12月31日）（単位:百万円）

	アジア	北米	その他	計
I. 海外売上高	24,075	2,362	1,218	27,656
II. 連結売上高				85,269
III. 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	28.2	2.8	1.4	32.4

(注) (1) 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

(2) 各区分に属する主な国又は地域

アジア・・・中国、香港

北 米・・・アメリカ

その他・・・欧州

(3) 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。